



編集 福井県日独友好親善協会
発行 平成18年8月30日
発号 平成18年度第1号
責任 中山 茂雄
FREUNDE (友人)

平成18年度 福井県日独友好親善協会訪独団の帰国報告

本年5月17日から24日までの8日間にわたり本協会による訪独団は、開幕中のヴィンゼン市庭園博のナショナルデー「日本の日」に合わせて、訪問しました。

訪独団は、栗田県国際交流協会長を名誉団長に、酒生協会長を団長とする総勢16名により構成。訪問の目的は、本協会が提唱して皆様のご協力を得て造成しました「友情の庭」を訪ね、併せてヴィンゼンとの友好協定の礎となったヘルベルト・ローデ氏に対して、日本国政府から春の褒章が伝達されることになり、ヴィンゼン市民の皆さんと共に祝うことにあります。

このような慶事に華を添えるように、衆議院議長が主宰する日本桜の会から「さくらの女王」とドイツ連邦共和国の「さくらの女王」が、褒章伝達に参加するなど、祝賀ムードに囲まれた日になりました。

伝達式後は、庭園博の会場におき手賀会員のお手前による「野点」により、地元関係者に日本文化の香り高い「抹茶」が振舞われました。その後、会員一同は、寄贈した「友情の庭」に立ち、遅咲きの桜の元でドイツの友人たちと記念撮影を行い、友好の交歓をかわしました。今回、極めて残念なことに、関空からの出発便がオーバーブッキングになり、韓国ソウル経由でハンブルクへ入ったことから、深夜にヴンゼンに到着し、向こうでの歓迎式が流れてしまいました。また、ホームステイも深夜に一泊ということになりました。

訪独団は、ドイツ隣国で中欧に位置するチェコ、オーストリアも訪問するのが今回の特色で、喜び勇んで次訪問地を訪ねました。今回の旅行の感想や写真を、次のとおり紹介します。



左側 石原在ハンブルク総領事 右側 ヘルベルト・ローデ氏



2006.05.18

日本庭園「友情の庭」の前で記念撮影

ドイツ・中欧の旅行感想

(会長 酒生耀子)

国際青年・婦人の船事業以来、長年、友好親善を重ねましたヴィンゼンの地に日本庭園が品格高く造成され、その地におき和服姿でお茶の野点をし、日本文化の一端たりとも披露できたことは意義深い訪独となり、この庭園こそ、まさしく、金字塔と言えると自賛しています。

(会員 吉田義之)

一番のハイライトは、ヴィンゼンでのホームステイでした。短時間でしたが、お世話になって有難うございました。また、よい日本庭園で

した。各地の建築物は、素晴らしく、どの食事もしみじみでした。良い思い出になりました。

(会員 宮川久子)

この度は、日独友好親善協会の皆様と共に募金で完成しましたカントリーガーデンショー内の「友情の庭」を訪れ、併せて日本ナショナルディに参加する機会をいただき心から感謝します。ホームステイのクラマーノ後夫妻には3か月前に長女をなくされ、8か月の初孫の長女をかかえ、大変な時期にもかかわらず快く迎えていただき、心から感動しました。合理的なドイツ人の生活態度、文化遺産のプラハ、モーツアルトを産んだザルツブルク、ウィーンでのコンサートなど生涯の心の糧を得た旅でした。

(会員 手賀信子)

サッカーWカップで世の中が賑わっているドイツで、国境を越えた文化交流のひと時、貴賓を前にしてのお手前は茶趣を楽しむ中にも「無事」そのものでした。茶席の設えの中に、日本文化を見聞しながらの一杯のお茶は、対話以上のものであったと思います。そして同道の方々の心をついに温めて戴けた事に、ただただ感謝しています。また、茶道に携わる人生の語り草として、生涯息続くことでしょう。

(会員 林 主計)

意義ある訪独に参加させてもらい有難く思っています。今回の催しで日本庭園、茶の湯、桜の女王など日本文化が独逸で根ざし花が咲いていることを大変うれしく思い日独交流の輪が広がることを願っています。

(会員 寺元外茂子)

今回は、若葉の季節に訪れることができ、感動でいっぱいでした。ドイツの日本庭園、数年後には、趣のある庭になるだろうと思えました。チェコでは、上空より見た広大な菜の花畑が今も目に焼きついている。そしてのどかな美しい風景、街並みは、どこを見ても様になっていました。オーストリアに入ると全く趣の違う美しさに目を見張りました。言葉では表現できないもどかしさを感じますが、とにかく素晴らしかった。モーツアルト・コンサートも忘れられない思い出になりました。

(会員 山本清子)

チェコ聖ビート大聖堂、青銅製の協会入口扉には、その建設の歴史が脈々と描かれて、観光客の私を強くその中に引き入れた。中はとてつもなく広く、ここが建物の中とはどうしても思えない。そして何よりも驚いたことは、色とりどりのステンド・グラス。礼拝している人物が描かれている。大聖堂の中で、外部から入る光線がステンド・グラスを通じて、自分の身体が七色の虹の中に居るようだった。

(会員 澤田幸治)

ウィーンでのモーツアルト生誕記念コンサートは、当時の服装で荘厳な会場、期待していたとおりの演奏で大変感激しました。

(会員 須藤邦久)

ヴィンゼンに立派な日本庭園ができました。何年後かに行って見るのが楽しみです。ドイツでこれだけの品物が揃えられるということは、日本の庭に対して世界の人々の関心度が高い証だと思えます。

ヴィンゼン訪日団のホームステイ宅募集

本年10月19日から23日まで、ヴィンゼン市からカットナー会長以下17名の市民が来福します。

訪日の人数や福井県内での詳細は未定で、カットナー会長と日程等を詰めているのが現状です。少なくとも2泊程度がホームステイになるものと思われます。また、来福時に本会が主体となる歓迎会の開催も予定しています。そこで会員の皆様をはじめ、関心のおありのある方から、広くホームステイとなるホスト宅を募集するものです。特別にドイツ語を必要とするものではありません。身振り、手振りのボディランゲージだけでも、十分に意思疎通が可能です。

問合せ先 県日独友好親善協会事務局（中小企業産業大学校内）中山へ 電話0776-41-3775